



マイナーチェンジにとどまる新型「iPhoneSE3」は買いか？



米アップルが3月8日（日本時間3月9日午前3時）に新製品発表イベントを開催する。今回は「iPhone SE」（第3世代、SE3）の発売が確実視されている。「iPhone SEシリーズ」は最上級機の「Pro」モデルを補完する廉価版ながら、「Pro」と同じCPUを搭載する「お買い得」な機種として人気がある。SE3は「買い」なのか？

本体デザインは同じだが、中身は別物

SE3はSE2が発売された2020年4月以来、ほぼ2年ぶりとなるモデルチェンジ。SE（初代）とSE2までは4年以上の空白期間があり「SEシリーズは廃止された」とまでささやかれた。今回は2年と短く、SEシリーズは定番化されたとみてよさそうだ。

そのSE3だが、筐体（ボディー）は現行モデルと同じ「iPhone8」のものを流用することになりそう。そのため本体のデザインやサイズ、重量、ディスプレイの大きさ、カメラレンズの数は現行のSE2と変わらないはずだ。メインカメラとなる裏面カメラの画素数も、最上位機の「13Pro」が1200万画素であることから変更はなさそうだ。

ただ、自画撮りやリモート会議で使用頻度が上がっている表面カメラは700万画素から1200万画素にアップグレードされるかもしれない。ディスプレイもSEシリーズでは初となるOLED（有機EL）に変更される可能性がある。

間違いないのはCPUが「A15

Bionic」となることだが、総じて大きな変化はなくマイナーチェンジに留まりそうだ。それでも最上位機種と同じCPUが搭載され、5Gにも対応するため通信やデータ処理の速度は上がり、使い勝手は向上する。それでいて価格は半額以下だ。

とりわけディスプレイが有機ELに、表面カメラが1200万画素にアップグレードされれば、確実に「買いたい」だ。基本性能は最上位機種に並ぶ。カメラ機能にこだわりがなければ、あえてiPhone13シリーズを使う必要はない。半導体不足でSE3も当面は品薄が続くだろう。早目に予約を入れておこう。

iPhoneSE3（予想） iPhoneSE2 iPhone13Pro

ディスプレイ

4.7インチ

LCDまたはOLED

4.7インチ

LCD

6.1インチ

OLED

カメラレンズの数

1 (広角)
1 (広角)
3 (望遠/広角/超広角)

CPU

A15 Bionic
A13 Bionic
A15 Bionic

カメラ画素数（裏面）

1200万画素
1200万画素
1200万画素

カメラ画素数（表面）

700万または1200万画素
700万画素
1200万画素

メインメモリー

4GB
3GB
6GB

ストレージ

128GB, 256GB, 512GB
64, 128, 256 GB
128GB, 256GB, 512GB, 1TB

通信規格

5G
4G LTE
5G

個人認証

指紋
指紋
顔

サイズ（高さ×幅×厚さ）

138.4×67.3×7.3 mm
138.4×67.3×7.3 mm
146.7×71.5×7.65 mm

重量

150 g前後
148 g
203 g

価格（税込）

5万円台前半から

4万9800円から
12万2800円から

文：M&A Online編集部

関連記事はこちら・「12
mini」の失敗で「SE3」登場が確実に・9月のiPhone13は「待ち」、来春のSE3は「買い」か